

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

平成23年10月21日

第17号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet

第49回東北地区肢体不自由教育研究大会 秋田大会

9月30日に本校を会場として第49回東北地区肢体不自由教育研究大会秋田大会が開催されました。県内外からたくさんの参加者を迎えて、「一人一人が生きる肢体不自由教育のあり方を求めて～生きる力を育む指導や支援はどうあればよいか～」のテーマのもと、授業公開、分科会講話・研究協議、全体会を行い、本校と県内の肢体不自由教育の実際を広く紹介する機会となりました。

各分野の専門家を講師に迎えて行った分科会では、肢体不自由教育に関する専門的な内容の講話に真剣に聞き入る姿や熱心に質問する姿が見られました。また研究協議では、各校の「現状と課題」をもとに活発に意見交換を行い、肢体不自由教育のネットワーク構築への一歩を踏み出しました。

公開授業



各学部の分科会テーマに沿った授業を公開しました。目を輝かせて読みきかせを聞く姿や意欲的に自分の課題に取り組む姿を紹介できました。



分科会



全体会



各分科会の講話や協議内容を全体会で報告しました。



分科会では講師の先生からそれぞれの専門分野の講話や協議についての助言をいただきました。専門的な内容を実技や実験を交えて分かりやすく、具体的にお話ししていただきました。またツールの紹介や活用の事例を交えた内容に頷く参加者も多く、「大変参考になった」という感想をたくさんいただきました。

第50回記念大会は岩手県立盛岡となん支援学校で開催されます。詳細は本校ホームページにて紹介いたします。

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

連載 本校の授業の様子から

中学部作業学習(油吸い取りパックの製作とその工夫)

今号では、中学部の作業学習について紹介します。中学部では、卒業後の社会参加を目指し、「働くために必要な基本的な知識や態度」「協力する楽しさ」「働く喜び」を育てるために、油吸い取りパックの製作に取り組んでいます。肢体不自由特別支援学校の作業学習としての教材教具の工夫や作業を行う際の配慮事項について、簡単ですが紹介したいと思います。



調理に使った油をこの部分が吸い取ります。中身は裁断した新聞紙と牛乳パックのパルプを綿状にしたものです。

<主な工程>

牛乳パックを解体 ラミネートをはがす 新聞紙、パルプを細かくする
乾燥したパルプをミキサーにかける パックにパルプと新聞紙を詰める。



市販されているハンドシュレッダーです。両手を使って作業することが難しいので、おもりをつけて固定することで片手だけでハンドルを回し裁断することができます。

ラミネートをはがす際に、片側を固定することで手指にまひがあっても、可能な動きで作業に取り組みます。



同様にまひが強く手指の動きに制限がある場合、リングとクリップ、ひもで作った補助具で、指先の動きでラミネートをはがす活動ができます。

作業に集中して向かえるように、背中にクッションやタオルをあてて、姿勢が崩れないように工夫するなど、個々の体の実態に応じた配慮も行っています。

本校初めての 学習発表会が開催されます。

秋田きらり支援学校初となる学習発表会が、「The 1st Stage ~伝説はここから始まる~」のテーマのもと、開催されます。小学部、中学部、高等部のそれぞれが、小体育館のステージで日頃の学習の成果を発表します。また、児童生徒の作品展示も併せて行います。どうぞ本校の児童生徒に会いに来てみませんか。

日にち 11月3日(木・文化の日)

時間 9:10 ~ 12:10

(小学部、中学部、高等部の順番で発表を行います。)



秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記までご連絡ください。

教頭 初山 節子 地域支援部 遠藤 美和子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail: kirari-s@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573

FAX：018(889)8575



次号は11月25日発行予定です。